



平成 28 年 2 月 10 日

各 位

会 社 名 岡藤ホールディングス株式会社
代 表 者 名 取締役社長 小 崎 隆 司
(J A S D A Q ・ コード 8 7 0 5)
問 合 せ 先
役 職 ・ 氏 名 取 締 役 杉 本 卓 士
電 話 0 3 - 5 5 4 3 - 8 7 0 5

平成 28 年 3 月期第 3 四半期の連結業績見通しに関するお知らせ

平成 28 年 3 月期第 3 四半期累計期間（平成 27 年 4 月 1 日～平成 27 年 12 月 31 日）の連結業績につきましては現在集計中ですが、決算の概要がまとまりましたので、業績見込みをお知らせいたしますとともに、前年同期実績と比較して差異が生じる見込みとなりましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 平成 28 年 3 月期第 3 四半期累計期間の連結業績見込みおよび業績との差異

(単位：百万円)

	営業収益	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 四半期純利益
前年同期実績 (平成 27 年 3 月期第 3 四半期累計期間) (A)	3,748	420	448	362
当期実績見込み (平成 28 年 3 月期第 3 四半期累計期間) (B)	2,318	△674	△569	238
増 減 額 (B - A)	△1,430	△1,094	△1,017	△124
増 減 率 (%)	△38.2	—	—	△34.2
(ご参考) 平成 27 年 3 月期実績	4,806	439	471	430

2. 差異が生じた理由

当第 3 四半期連結累計期間におけるわが国経済は、公共投資が減少傾向となったものの、輸出は欧米向けを中心に次第に持ち直し、企業収益の改善によって設備投資も増加基調となりました。雇用情勢は改善しており、個人消費も底堅く推移するなど、緩やかな回復が続きました。

商品市況は、貴金属は金融不安から金が上昇する場面もありましたが、米国の利上げ観測によるドル高で下落基調となり、石油は世界需給の緩和傾向で大幅に下落。穀物は米国の天候不安での上昇から豊作を確認すると反落し、全国市場売買高は 37,776 千枚（前年同期比 110.5%）となりました。

このような状況のなか、当社グループの中核事業である商品取引関連事業における受取手数料につきましては、主力である貴金属市場における受取手数料が落ち込んだこともあり 1,906 百万円（前年同期比 57.9%）となりました。また、売買損益につきましては、貴金属市場における売買損益が利益となりましたが、43 百万円の利益（前年同期比 71.2%）にとどまりました。

この結果、営業収益は 2,318 百万円（前年同期比 61.8%）となる見込みであります。また、営業費用につきましては、2,992 百万円（前年同期比 89.9%）となる見込みであります。これらにより、営業損失は 674 百万円、経常損失は 569 百万円となる見込みであります。これに加えて、固定資産売却益 537 百万円および投資有価証券売却益 326 百万円の特別利益を計上したことなどから親会社株主に帰属する四半期純利益は 238 百万円となる見込みであります。

以 上